

## 平成 30 年度 認知症地域支援推進員 活動報告書（大阪市東成区）

### I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

認知症サポーター養成講座は、東成区キャラバンメイト連絡会を中心として行っている。30年度は6回行った。

- ・北中道小学校 5年生向けサポーター養成講座 10/10（水）
- ・日本総合住生活株式会社 清掃従業員向けサポーター養成講座 10/24（水）
- ・グループホーム職員向けサポーター養成講座（2回） 6/22（金）・11/30（金）
- ・相生中学校 1、2年生向けサポーター養成講座 12/13（木）
- ・宝栄小学校 12/7（金）

東成区キャラバンメイト連絡会では、毎月第2木曜日に定例会議を行ない意見交換や予定について話し合っている。メンバーは専門職が大半であるので、今後は地域住民など一般の方の参加を促していく。

### II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

早期発見・早期受診に関しては、認知症初期集中支援チームが支援にあたる。チームが、円滑に業務を進められるよう、推進員は地域資源の整備や連携体制を構築する。東成区では、様々な会議体や取り組みを通して区内の体制整備を進めている。

- ・認知症施策実務者ワーキング会議

参加者は区役所・区内包括・ランチ・医師会・生活支援 Co・リハビリ職と推進員。東成区版認知症ケアパスの作成を軸に、地域住民への講座も行なっている。

### III 若年性認知症の人やその家族への支援

直接支援したケースは少ないが、東成区に有る「認知症の人とみんなのサポートセンター」内の「タック」（生きがいとしての若年性認知症の人を中心とした「仕事の場」）の参加者を招いて認知症講演会の場で紹介する等の連携を行なった。又、区内認知症関連行事の際にもチラシを配布し周知するなど協力している。

### IV 認知症の人の介護者への支援

東成区内の認知症カフェは6ヶ所。ほぼ介護事業所が主体であるが、老人福祉センター内の「おれんじカフェひがしなり」では、認知症当事者やボランティアが中心となり、東成区南部地域包括支援センターと認知症地域支援推進員、老人福祉センター職員らで後方支援をし、毎月第二木曜日に定期開催している。

### V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

「包括的支援事業連絡会」を結成し、予防段階からのアプローチが重要という考えの下で活動を行なう。地域向けに認知症予防講座も行なっている。また、生活支援 Coと協働し、憩の家や地域での体操（百歳体操等）には参加に消極的な層（定年退職後の男性）にも目を向け、男性のみに参加者を限定した自主活動グループの立上げと継続への支援も行なっている。

## VI 会議や研修等の実施及び参画

東成区内では、多くの会議体を設置し区内関係機関連携体制の構築に努めている。既存の会議体にも認知症地域支援推進員が設置された当初から積極的に参加している。

推進員が参加している会議は下記に記載。（このほかにも地域ケア会議など多数参加している）

### 【認知症初期集中支援チームが設置後に新たに出来た会議】

- ・認知症施策実務者ワーキング会議
- ・認知症等支援チーム検討会議
- ・包括的支援事業連絡会
- ・特養老健連絡会
- ・在宅医療 介護連携推進会議

### 【チーム設置以前から有る会議】

- ・東成区包括ランチ連絡会
- ・東成区認知症ケア実践者の会
- ・東成区キャラバンメイト連絡会
- ・グループホーム連絡会
- ・地域ケアネットワーク連絡会（区内11校下）
- ・地域生活支援システム専門分野別実務者会議（高齢者支援）
- ・生活支援体制整備事業第1層協議体会議